

新年あけましておめでとうございます

2012年も皆様のご健康とご多幸を お祈り申し上げます。

नयां वर्षको शुभउपलक्षमा हार्दिक मंगलमय कामना

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン
理事長 マナンダール マダーブ ナラエン

昨年は日本にとって試練の年でした。想像を超える大震災に驚き、恐れ慄き、その被害に涙しました。その後の明らかになる原発被害に振り回されました。世界中が日本を注視し、援助の手を差し延べました。国内の団結や、被災された方々の労わり合う姿、ボランティアに向かう人々に感動しました。被災地の復興が進むよう、日本中の、世界中の多くの人々が幸せを感じられる新しい年になって欲しいと願っています。そして助け合う気持ちを持ちたいと思います。

ミランクラブジャパンの会員数は昨年末で 106 名でした。日本の景気が良い時代には会員数が 170 名を超えた時もありました。経済情勢が不安定にも関わらず多くの皆さまのご支援やご協力に心から感謝しています。埼玉、神奈川、松山支部の活動にも心強く思います。

ミランクラブは、毎月の会報発行、NGO 国際フェスティバル参加による広報活動、理事会などを行い、広く情報を提供できるように活動を進めています。私たちミランクラブジャパンは、ネパールの登録法人ミランクラブネパール（会員 10 名+コーディネーター2名）と手を取り、この 20 年活動を続けています。

年初に当り再度の活動報告をさせていただきます。ミランクラブジャパンの支援活動の第一目的は『里子制度』です。一人でも多くの女子が学校へ通えるように支援をすることです。現在は孤児及び父親不在の貧困家庭の女子を対象としています。そのため活動は大きく分けて二つあ

ります。一つは発足当初から続けてきた直接里子に教育支援をすることです。もう一つは教育現場の環境整備、地域の女性への職業訓練などを行い、学びやすい環境の提供や女性の自立支援を目指しています。

1. ミラン里子制度

ミラン里子制度は、1990 年から始まり、会員の寄付金を利子の高いネパールの金融機関に預け、その利子から支援を行っています。ミランクラブの支援の方法は、他団体の短期の支援と違い、自立可能な高校卒業までの支援を続けています。又、高校を優秀な成績で卒業し、進学希望がある里子にも支援をしています。

この制度は 1990 年に 1 人の里子から始まり、総計 600 名を超えました。現在この制度を受けている里子たちは 331 名です。内訳は、小～高等学校で 266 名、大学生 65 名です。

里子たちの中には教員、会社員、エンジニア、医師、看護婦などの職業に就き自立し、社会貢献している子も増えています。結婚した里子たちも教育の大切さを子供たちに伝え続けていくことでしょう。ミランクラブは毎年およそ 20 名の新規里子を受け入れています。教育支援費は小学校 1 年生から高等学校 10 年生は 300 ルピー（約 300 円）、そして大学生（短大 2 年間+大学 3 年間）には 500 ルピー（約 500 円）です。里子たちは地方からの子が多くいます。

2. ミラン職業訓練所

日本のフォトボランティアジャパンによって2002年に開所しました。ミラन्दルマスター学園村にあるこの施設には、裁縫クラス、コンピュータクラスと美容クラスがあります。今まで4回に渡り寄付を頂き、施設も2階建にし、去年の寄付で10台のパソコンを設置しました。



コンピュータコース訓練

現在、教育環境整備会員の会費から職業訓練所の運営に掛る教師の給与や設備費などを賄っています。クラスは3カ月コースで、年に2回程度行っています。職業訓練は、多くの村人たちの自立支援に役立っています。

また、ミシン、コンピュータ機材が空いている時、ミラन्दルマスター学園村を中心に、ミランクラブネパールの支部がある地方の職業訓練にも貸し出して有効活用しています。



職業訓練室

一昨年のサンク村に続き、去年はラメチャープ郡へ貸し出しました。

職業訓練では材料費は受講者負担としています。今後はより多くの村人たちが職業訓練を受けられるように、会員を増やせたらと考えています。

職業訓練所は学校と同じ敷地内にあるため、生徒たちも設備を利用しています。

3. ミラन्दルマスター学校

ミラन्दルマスター学校は2002年に岐阜淡墨ロータリクラブの支援のもと、小学校として開校されました。学校建設は、地域の子供たちへの教育普及が目的です。



学校校舎

ネパール教育省の登録方針で学校に運営能力があった場合、毎年一学年ずつ増やすことが認可されます。ミラन्दルマスター学校も、それを満たしてきたので、現在10年生までの学校になりました。学校の運営は教職員18名（男7名、女11名）で行われています。そして全生徒数251名です。



授業風景

学校は、ネパールの教育省の指導に基づき、一部の子供たちの学費免除を行っています。

今年初めて高等学校卒業生が出るためネパールで一番難しい SLC（全国統一高等学校試験）受験生が 11 名誕生します。

学校	学年	生徒数
保育園	1年	24
	2年	29
小学校	1年	20
	2年	20
	3年	25
	4年	18
	5年	14
中学校	6年	19
	7年	17
	8年	15
高等学校	9年	19
	10年	11
合計		251

学校のスケジュールは、基本的に朝 10 時から午後 4 時までです。しかし低学年の生徒の場合は 2 時 30 分で終わります。多くの子供たちは遠方から通学しているため、放課後は遊ばずに帰ります。近くの子供たちは、校庭で遊んだりしますが、日本の部活に当たるものはネパールの学校にはありません。

学費の設定は、村の子供たちが学校へ行けるようにと、他の私立学校から比べると 4 分の 1 で、公立学校から比べても半分程度です。

他の学校との違いは、学費が安い以外にも関わらず、毎年全校生徒の健康診断を行っています。課外活動として、年に 2 回遠足があります。設備の良さと生徒への待遇の良さで村周辺では人気の高い学校として名が通っています。

昨年、学校の施設整備を行い、10 年生の生徒のために校舎 4 階の一部増築と平屋建ての図書館の上に化学の授業のための教室を新設しました。

学校	学年費 (Rs.)	期末試験費
保育園	330	120
幼稚園	340	120
	60	120
小学校	380	150
	400	150
	420	170
	445	170
中学校	470	170
	495	200
	510	200
高等学校	545	250
	600	250
	650	250



校庭での子どもたち

また、(財)埼玉県国際交流協会の支援により毎年の生徒増で不自由していた男女別トイレの新設を行いました。そして (株) TOTO の支援によりダルマスターリ学校に山からの湧水を引き、水道水を供給することができました。子供達はいつでも清潔な水を飲めるようになりました。(財)埼玉県国際交流協会、(株)TOTO に心から感謝致します。



新しい水飲み場で水を飲む子供たち



2011年3月完成のトイレ

昨年は日本の学校とミランダルマスタリ学校間での文通の交流も始まり、日本への関心も高まりました。

そしてフランス人教師に続き英国人教師、日本人教師がミランダルマスタリ校で教えました。人的交流を盛んにして、少しでも日本・ネパール間での理解が深まればと思います。

4. ミラン図書館

ミラン図書館は、(財)埼玉県国際交流協会の助成金で2005年に平屋建てとして建てられました。その後、多くの団体や個人から、図書等、設備の寄付があり、現在、蔵書は約8千冊が整備されています。毎日の新聞や雑誌も備えられています。またインターネットが出来る環境にしてあり、コピー機なども備えられています。図書館には、幼稚園から大学生まで幅広く使えるような図書が揃えられています。学校の授業にも使え、現在この図書館は地域の村人にも一部を開放しています。

図書館の管理は、ミラン奨学生のスミトラ・アディカリが行っています。彼女

は図書館員だけではなく、生徒たちの教育向上にも協力してくれています。



図書室

5. ミラン寄宿舎

ミラン寄宿舎は(財)ひろしま・祈りの石国際教育交流財団により2006年に完成したものです。寄宿舎には、現在21名の生徒がいます。同じミランダルマスタリ学園村の敷地内にあるため、教師の目の届く範囲内にあり管理しやすくなっています。子供たちの交流も盛んです。現在、寄宿舎には校長先生一家も住んでいます。他4名の管理人、コック、ガードマンが常駐しています。



寄宿舎

最後に、ミランクラブジャパンは2004年に、無登録のNGO団体からNPO法人として登録されました。なお、活動が活発になるにつれ、認定NPO法人として登録した場合、個人や団体からの寄付金を所得控除することができるため、昨年末申請手続きを致しました。

お蔭様でミランクラブジャパンも今年で24年目を迎えます。今後とも今まで同様のご支援とご協力の程よろしくお願い致します。

皆さまにとって良い年でありますようお願いしています。